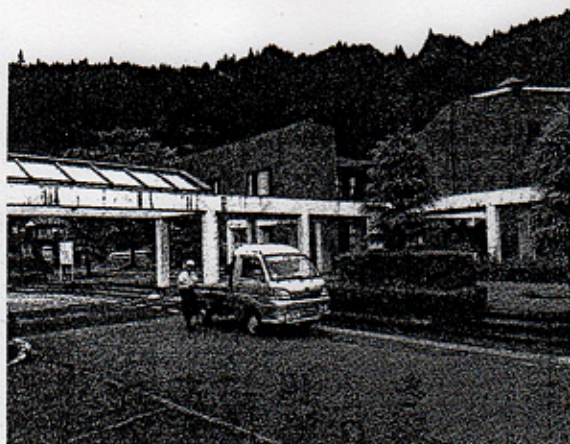


動き出す地方創生

①

豊根村④ 小さく持続するむら戦略



静かなたたずまいの豊根村役場

東三河8市町村で、えだ豊根村、豊橋市、地方創生「地方版総合戦略」の策定が進む。そして「地方創生」はいよいよ実践段階に入り、具体的に動き出す。そのための新年度予算も3月議会で審議される。すでに策定を終

事務局長を務める豊根村地域振興課の青山幸一課長が「小さな村の意気込みを示したかった」と言うだけに、東海3県では豊根村が策定第1号となり、全国に

示した小さな村の意気込み

年3月以降、村長を本部長とし、役場幹部職員を構成員とした戦略推進本部のもとに、村内各界代表による検討委員会(委員長＝戸田敏行・愛知大学地域政策学部教授)を中心に策定作業を進めてきた。

豊根村の暮らしや文化を守る人口規模1号となり、全国に

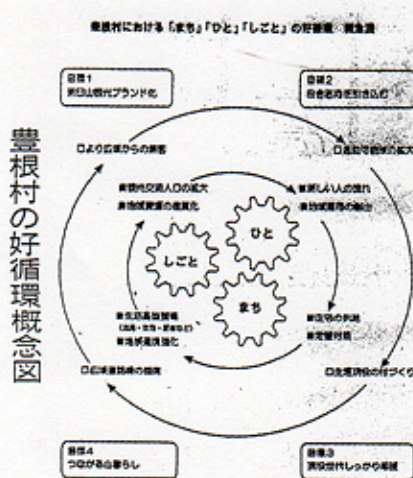
と名付け、豊根村を将来にわたって持続することを宣言し、そのために当面の5年間に進める取り組みの方向を定めている。

■人口ビジョン

豊根村の地方創生に対する村の基本的考え方は①小さいことを生かした長続きする豊根村にする②

自分たちのことは自分たちで決めるむらづくり③かあくありを広げるむらづくりとして平成27年度から5か年間の取り組みをまとめた。

豊根村の現在(昨年11月末)の人口は県内最小の1191人。今後取り組みを実施しない場合、少子高齢化の傾向が今



策を実施し、人口対策の効果を十分発揮させて、2060年の豊根村人口を900人程度確保して、高齢化率25%・若年者比率18%のバランスの良い人口構成にして、小中学校の複式学級を解消し、2015年の生産年齢人口を確保することとしている。これにより、一早く「脱高齢化」を図り、持続可能な人口構成を実現するとしている。

■好循環の確立

「まち・ひと・しごと」の創生に明確な考えを持ち、好循環に変化させるための環境を整えていくことが急務です」として、村では、まち・ひと・しごとの創生に同時かつ一体的に取り組むことが必要だと考えている。